

第26回 同友会経済サミット

「高度なグローバル人材が活躍できるまち“浜松”」

外国人にとって暮らしやすい街づくり

2020年3月26日(木) @ホテルコンコルド浜松

静岡文化芸術大学 副学長 池上 重弘

<http://wwwt.suac.ac.jp/~ikegami/>

HP

池上重弘研究室



1. はじめにー講演の背景と目的ー

講演の背景と目的

- この10年で外国人をめぐる環境も変化
 - 2008年のリーマン・ショックから10年
 - 家族滞在の日系人派遣労働者から
 - 単身で暮らすアジア系技能実習生へ
 - 日系人の高齢化と第二世代の台頭、アジア系の増加
 - 「特定技能」の新設で外国人単純労働者の公式受け入れ
- 高度人材の定着には地域との関係も重要
 - 「21世紀の三方よし」
 - 静岡県、とくに浜松は「つなぎ役」人材が豊富

2. 在留外国人の全国的動向と 静岡県の特徴

旅行者(インバウンド)と在留外国人

旅行者
(インバウンド)



(2018年)

3,120万人

今日はこちらの話です

在留外国人



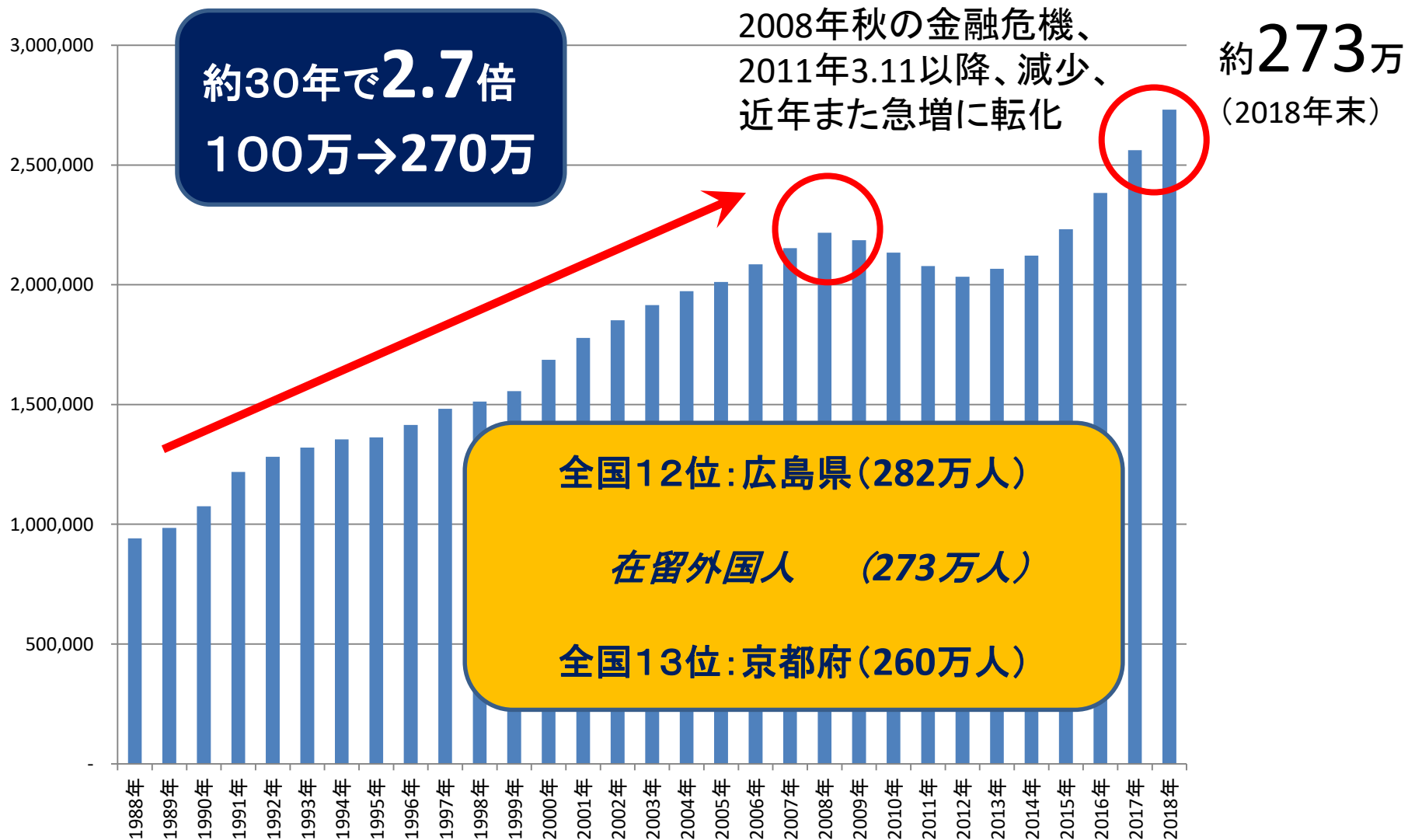
+



在留カード

273万人

在留外国人数の推移(各年末現在)



出典: 法務省資料

在留外国人数の推移(各年末現在)



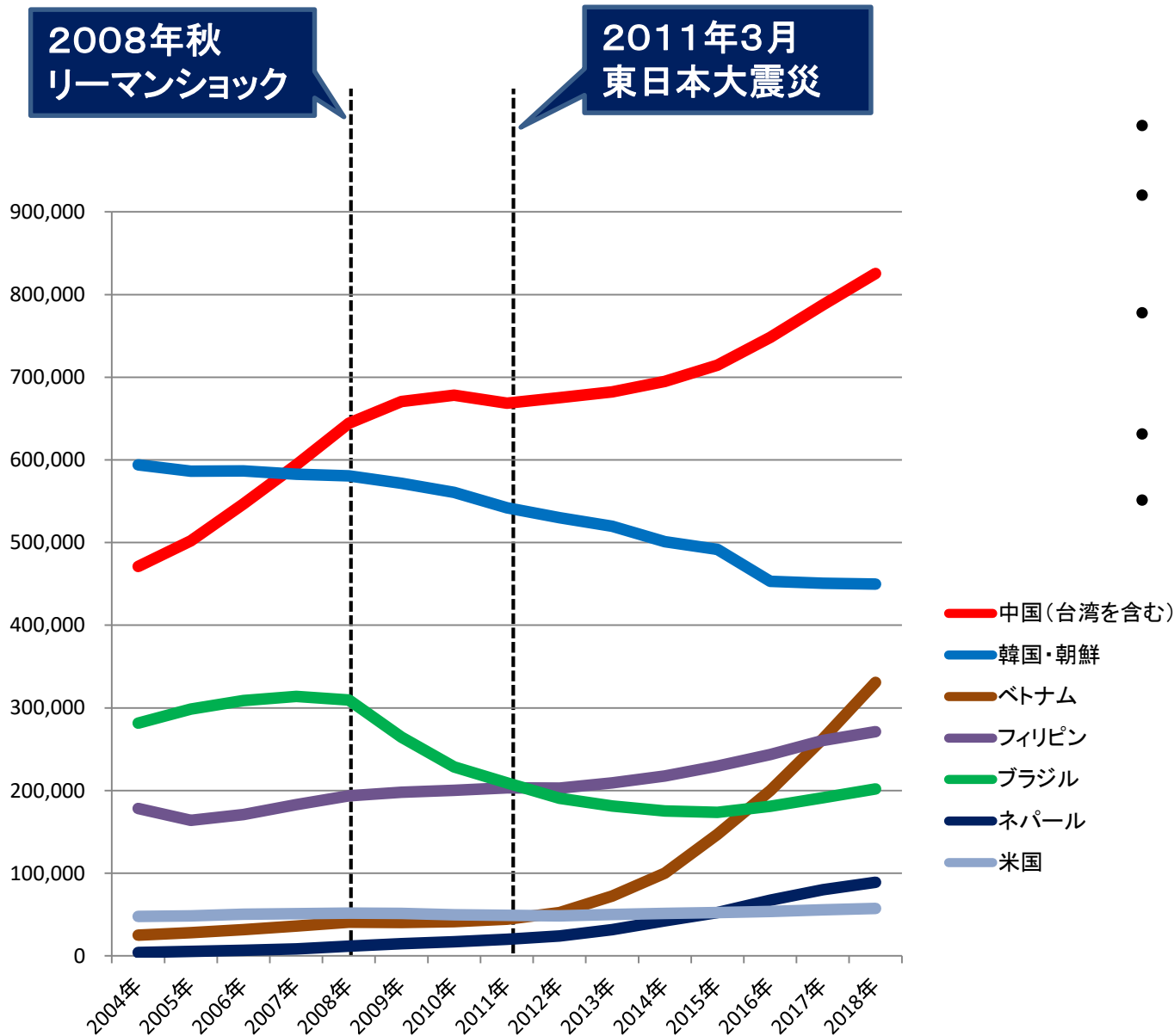
出典：法務省資料

在留外国人数の推移(各年末現在)



出典：法務省資料

国籍別在留外国人数の推移(各年末現在)



- 中国が最多
- 韓国・朝鮮は漸減傾向
- ブラジルは2008以降、急減
- フィリピンは漸増
- ここ数年はベトナムとネパールが急増

在留外国人の
アジア化が進行

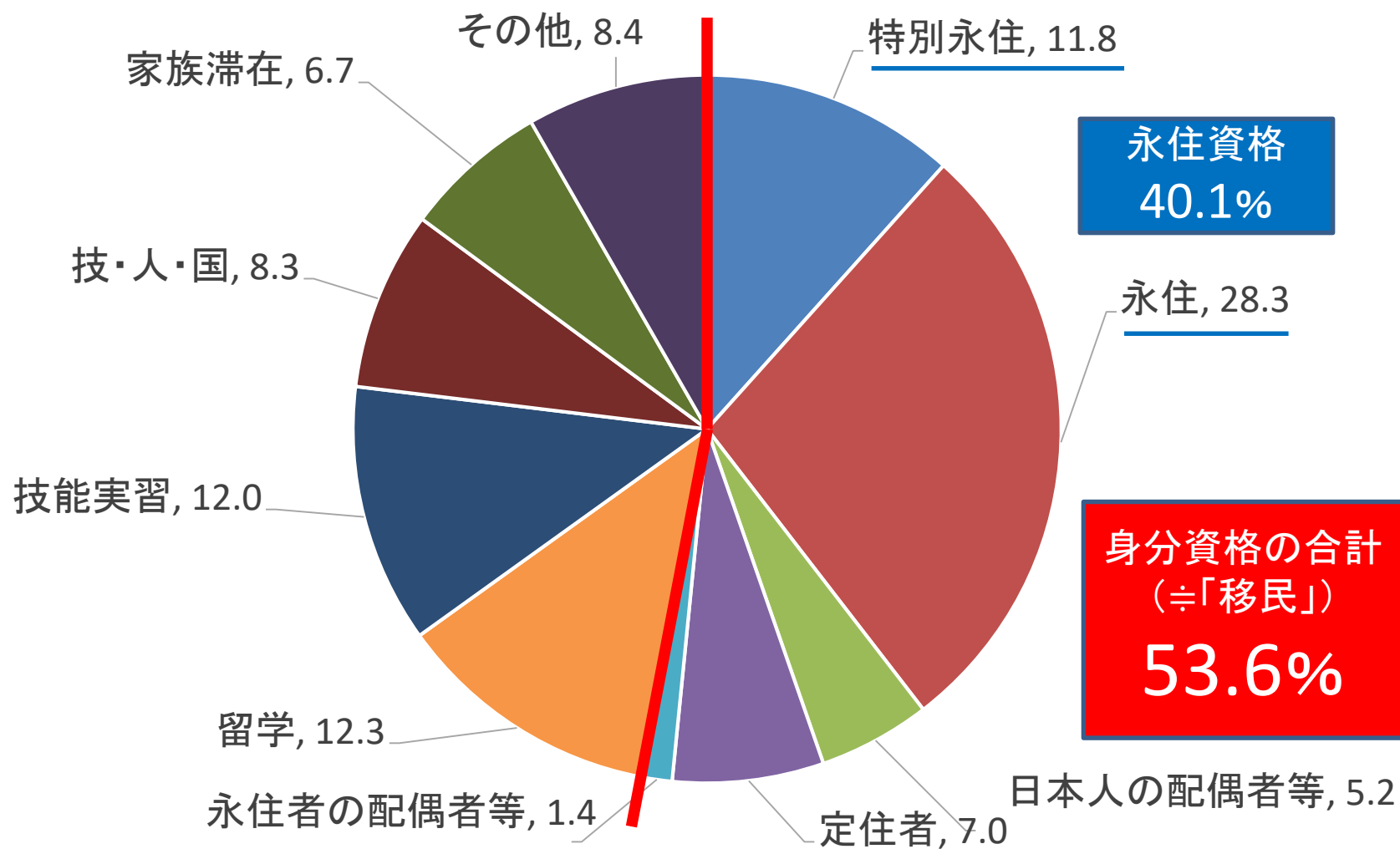
国籍別比較(2018年末)

	1	2	3	4	5
全国 約273万人	中国 28.0%	韓国 16.5%	ベトナム 12.1%	フィリピン 9.9%	ブラジル 7.4%
静岡県 約8.9万人	ブラジル <u>31.2%</u>	フィリピン <u>18.5%</u>	中国 13.0%	ベトナム 10.4%	韓国 5.8%

出典:法務省統計

- ・静岡県では依然ブラジル人比率が高い
- ・フィリピン、中国がそれに続く
- ・全国3位に急増してきたベトナムは静岡県でも4位

在留資格の割合(2018年末、273万人)



在留資格別比較(2018年末)

	永住者	特別永住者	定住者	日本人の 配偶者等	永住者の 配偶者等
全国 53.7%	28.3%	11.8%	7.0%	5.2%	1.4%
静岡県 71.6%	<u>41.1%</u>	3.6%	<u>18.7%</u>	6.3%	1.9%

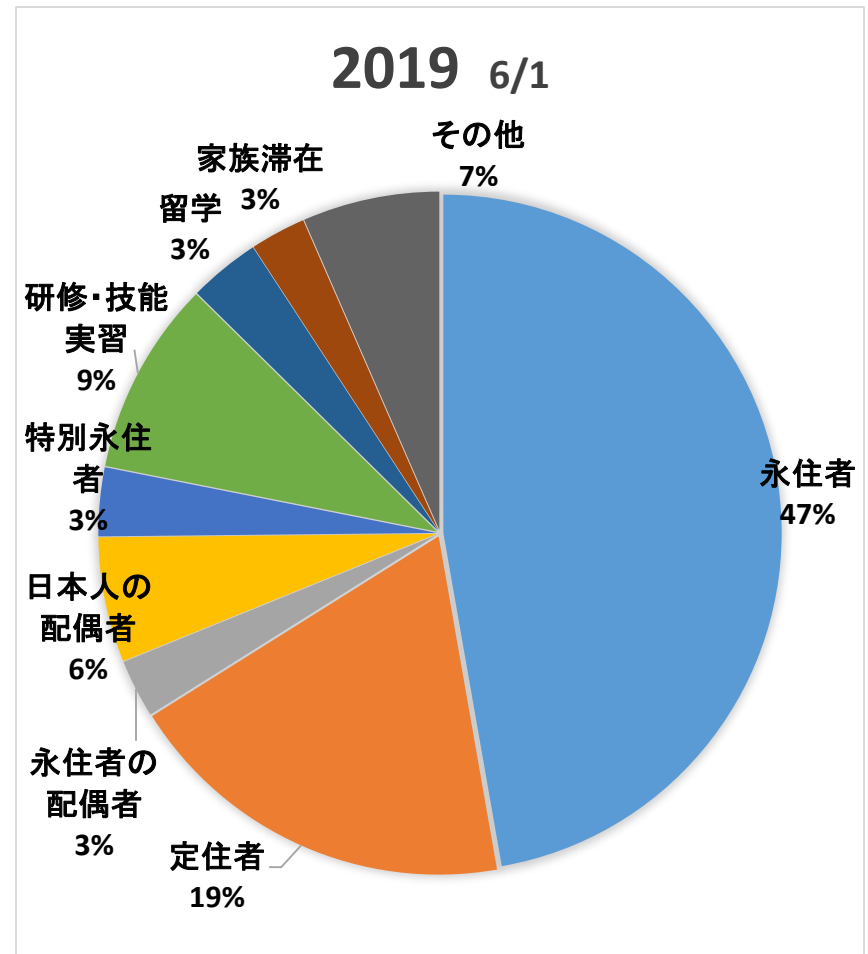
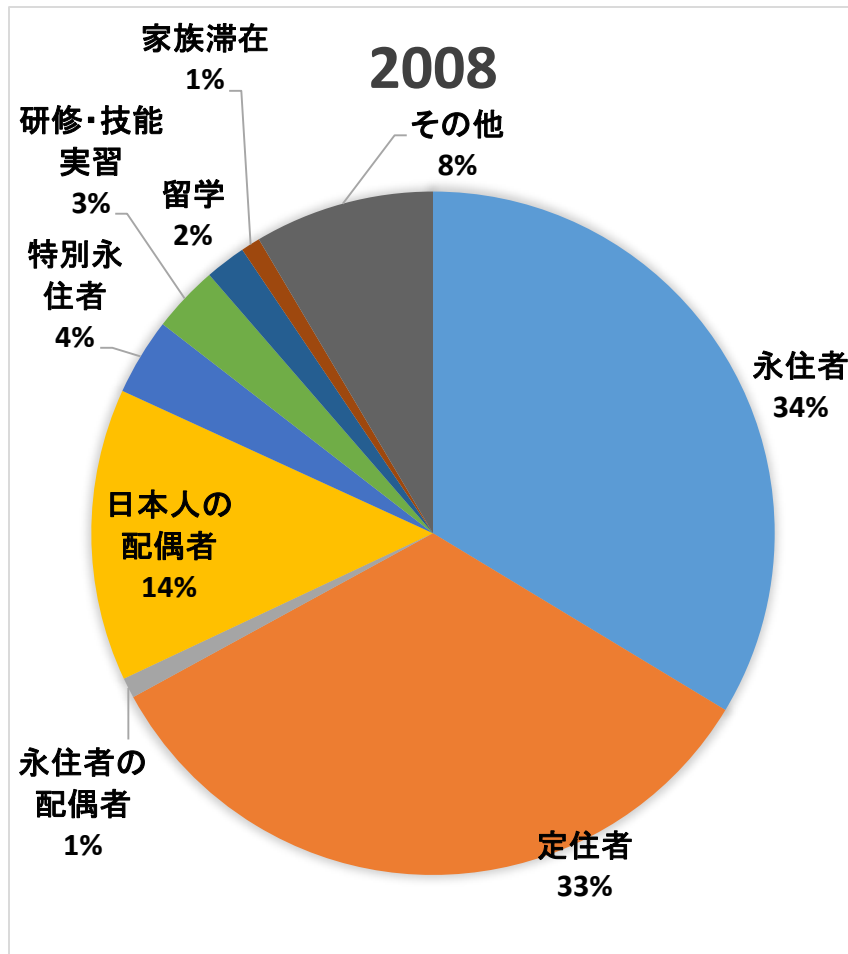
出典：法務省統計

居住と就労に制限のない**身分資格**(欧米基準では「移民」に相当)の合計

全国：約273万人の**53.7%(2人に1人)**

静岡県：約9.2万人の**71.6%(4人に3人)**
(2018年末)

浜松市の在留資格別比率



出典：浜松市資料、グラフ作成は浜松国際交流協会

3. 外国人雇用状況データに見る 外国人労働者

日本における外国人受入れの枠組

<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/kanri/qaq5.html>

- 特定の就労が認められる在留資格

- 外交、公用、教授、芸術、宗教、報道、高度専門職
- 経営・管理、法律・会計業務、医療、研究、教育
- 技術・人文知識・国際業務、企業内転勤、介護

- 興行、技能、技能実習（対象職種に介護が追加）

- 就労不可の在留資格

- 文化活動、短期滞在、留学、研修、家族滞在

- 就労可否は個々の許可内容による在留資格

- 特定活動（ワーホリ、外交官の家事使用人等）

- 活動に制限のない在留資格【身分資格】

- 永住、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者

今日の議論の対象

外国人労働者に関する日本政府のこれまでの基本スタンス

第6次雇用対策基本計画(1988年6月に閣議決定)を踏まえ、
第9次雇用対策基本計画(1999年8月に閣議決定)で示す。

①専門的、技術的分野の外国人労働者の受入

→積極的に推進

②いわゆる単純労働者の受入

→十分慎重に対応することが不可欠

しかし実態は政府のスタンスとはかけ離れていた！

外国人受け入れの「3つのドア」

フロントドア

専門的・技術的分野
特定活動（ワーホリ、EPA等）



サイドドア

技能実習
資格外活動（留学生バイト）
身分資格（日系人労働者）

バックドア

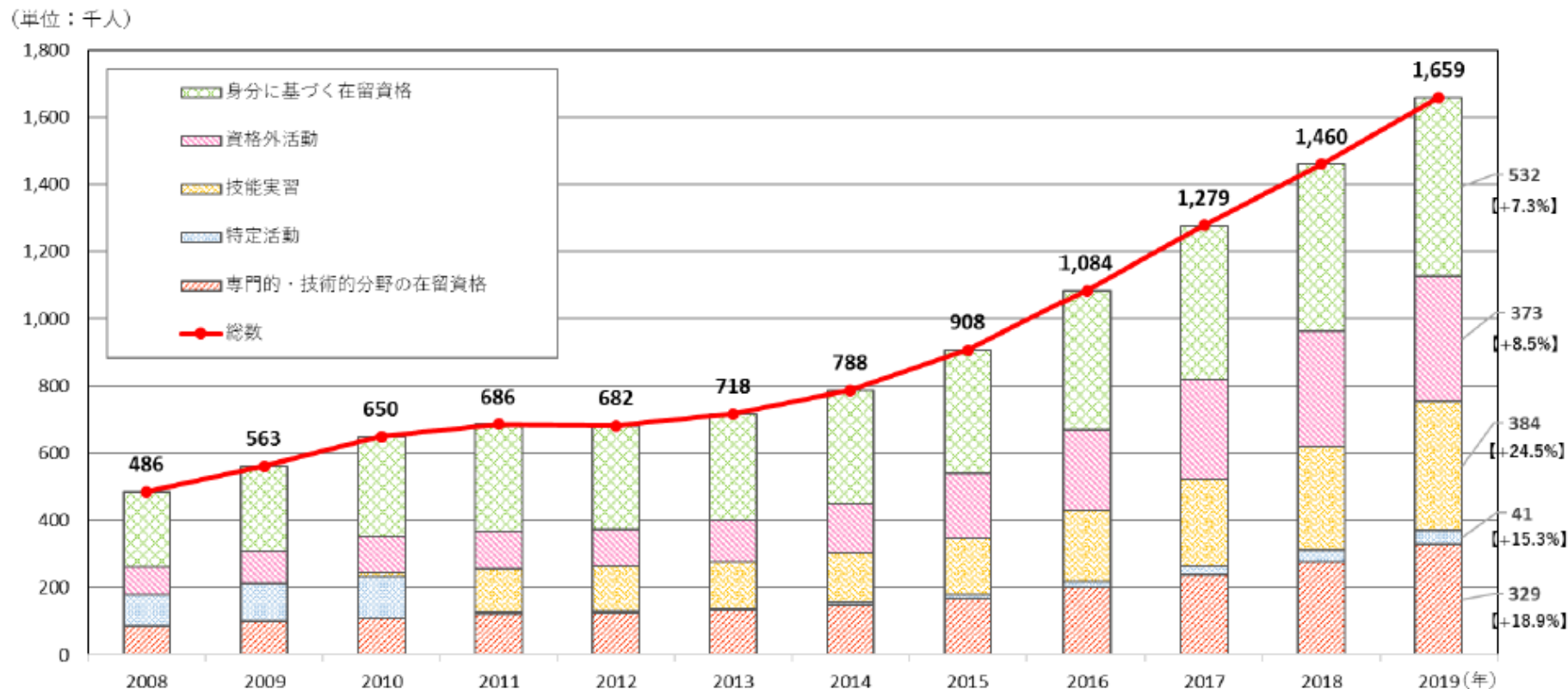
“不法就労”

厚生労働省の「外国人雇用状況」届出制度

- 2007年10月に開始、2019年10月末が最新
- 雇用者は雇い入れ及び離職時に届け出
 - 外国人の氏名、在留資格等
 - ハローワークに届け出
- 外国人労働者の雇用管理の改善や再就職支援等が目的
 - 「特別永住者」「外交」「公用」は対象外

2019年は166万人の 外国人労働者

図1 在留資格別外国人労働者数の推移



注1：【 】内は、前年同期比を示している。

注2：「専門的・技術的分野の在留資格」とは、就労目的で在留が認められるものであり、経営者、技術者、研究者、外国料理の調理師、特定技能等が該当する。

注3：「身分に基づく在留資格」とは、我が国において有する身分又は地位に基づくものであり、永住者、日系人等が該当する。

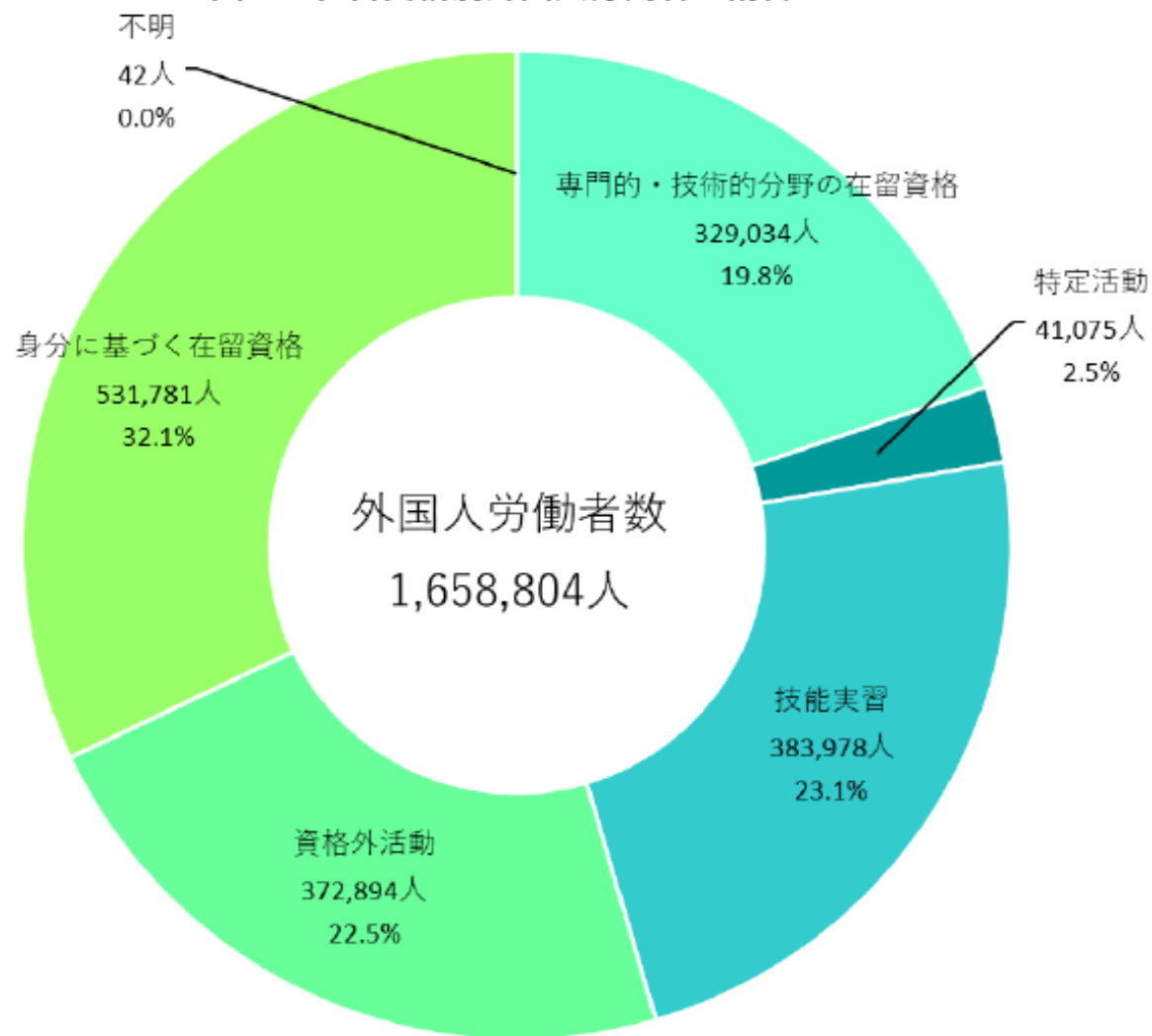
注4：「特定活動」とは、法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動を行うものである。

注5：「資格外活動」とは、本来の在留目的である活動以外に就労活動を行うもの（原則週28時間以内）であり、留学生のアルバイト等が該当する。

出典：「外国人雇用状況」の届出状況まとめ【本文】(令和元年10月末現在)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/000590310.pdf>

図3 在留資格別外国人労働者の割合



出典:「外国人雇用状況」の届出状況まとめ【本文】(令和元年10月末現在)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/000590310.pdf>

外国人受け入れの「3つのドア」

フロントドア

専門的・技術的分野 33万

特定活動（ワーホリ、EPA等） 4.1万



サイドドア

技能実習 38万

資格外活動（留学生バイト） 37万

身分資格（日系人労働者） 53万

バックドア

“不法就労”

4. 新たに導入された「特定技能」

外国人受け入れの「3つのドア」

フロントドア

専門的・技術的分野 33万

特定活動（ワーホリ、EPA等） 4.1万

特定技能 34.5万



サイドドア

技能実習 38万

資格外活動（留学生バイト） 37万

身分資格（日系人労働者） 53万

バックドア

“不法就労”

新在留資格「特定技能」

- 「特定技能」で単純労働分野の就労を認める
 - 技能試験＋日本語試験合格→5年滞在
- 技能実習修了者は試験免除
 - 技能実習5年＋特定技能5年→計10年滞在
- 人材不足分野で就労
 - 当初案の分野「農業、建設、宿泊、介護、造船」
 - 追加案の分野「製造、水産、食品加工」
 - 現段階の分野「人材不足の特定産業14分野」

特定技能で受け入れる 14の特定産業分野

第一次産業 (農林水産業)	第二次産業 (鉱工業、建設業)	第三次産業 (サービス業)
農業	素形材産業	介護
漁業	産業機械製造業	ビルクリーニング
	電気・電子情報関連産業	自動車整備
	建設	外食業
	造船・船用工業	宿泊
	航空	
	飲食料品製造業	

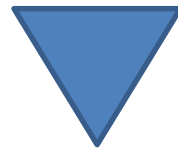
特定技能2号は、**建設、造船・船用工業**の2分野のみ受け入れ可能
(ただし2年後に本格導入予定)

「特定技能」1号、2号の違い

	業務	期間	家族帯同
特定技能1号	一定の技能を要する業務	最長5年	不可
特定技能2号	熟練技能を要する業務	更新可能	可能

しかし、

- 2019年度の受入目標:48,000人
- 2019年末時点の実績: 1,621人(3.4%)
- 5年間で34万5千人の目標ははるかに遠い



安定した外国人労働力確保には、
専門性を持った高度人材受け入れが必要

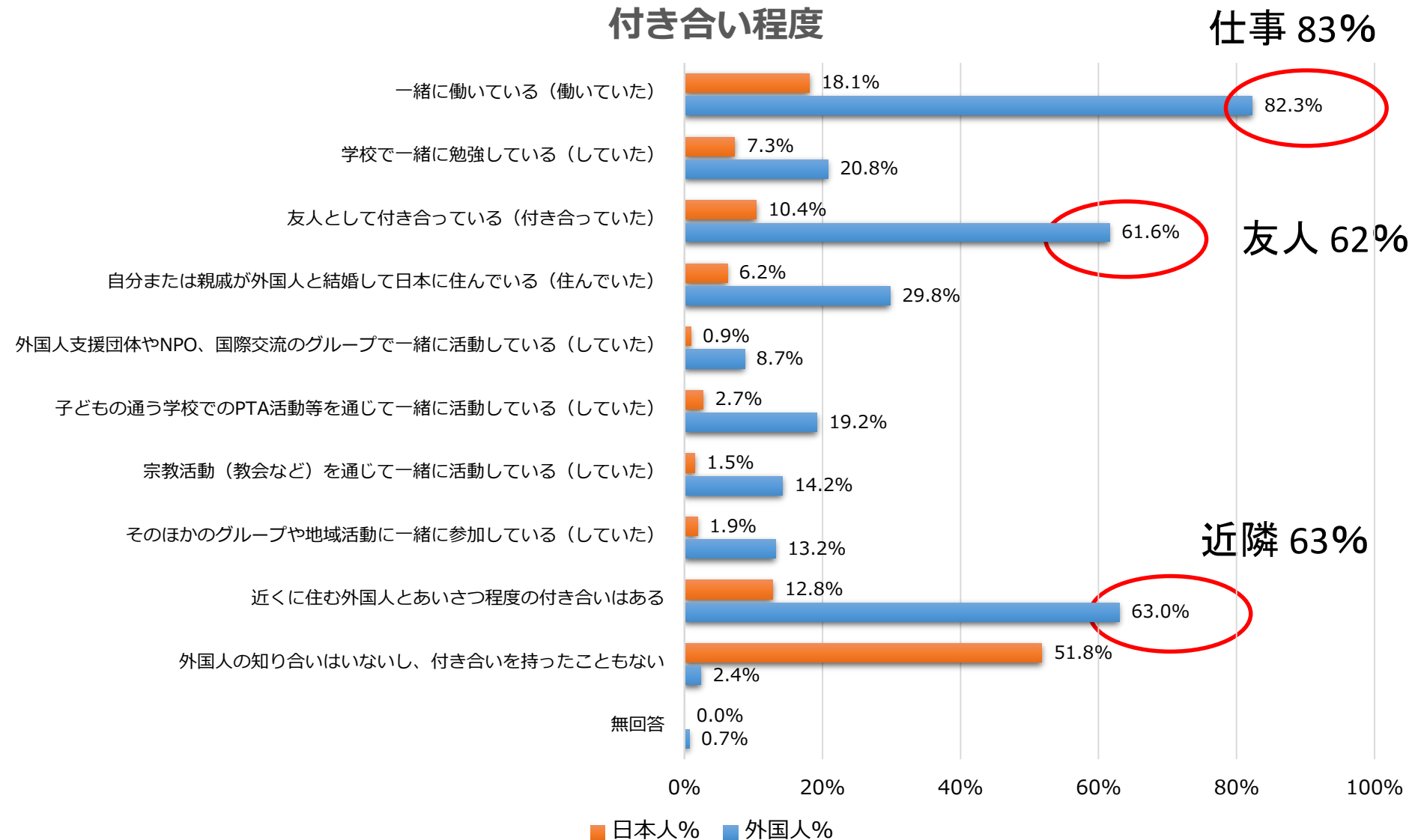
5. 外国人が暮らしやすい 地域になるには

静岡県多文化共生基礎調査2016 (日本人調査)

- 浜松市、静岡市、掛川市、富士市、沼津市
- 日本人調査は無作為抽出で2,000部郵送
- 16歳以上の日本人県民の方が対象
- 回答数879部(回収率44.1%)
- そのうち有効回答数は874部
- 以下のグラフは874部に対する比率(%)

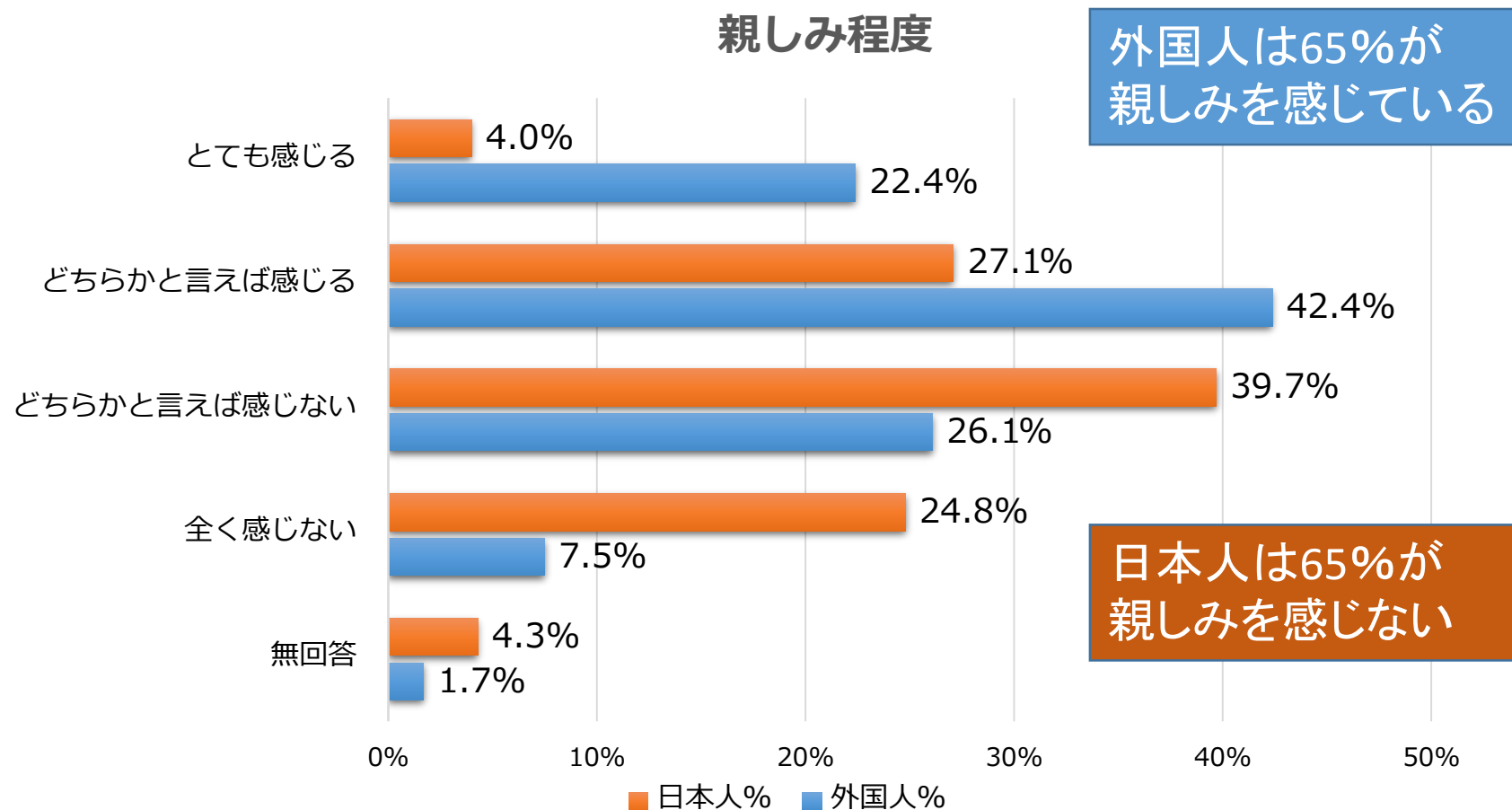
付き合いの程度を日本人調査／外国人調査で比較

(2016年日本人)問10 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(複数回答)



外国人は日本人に対して親しみをを感じる人が多い。 日本人の認識と対照的な結果。

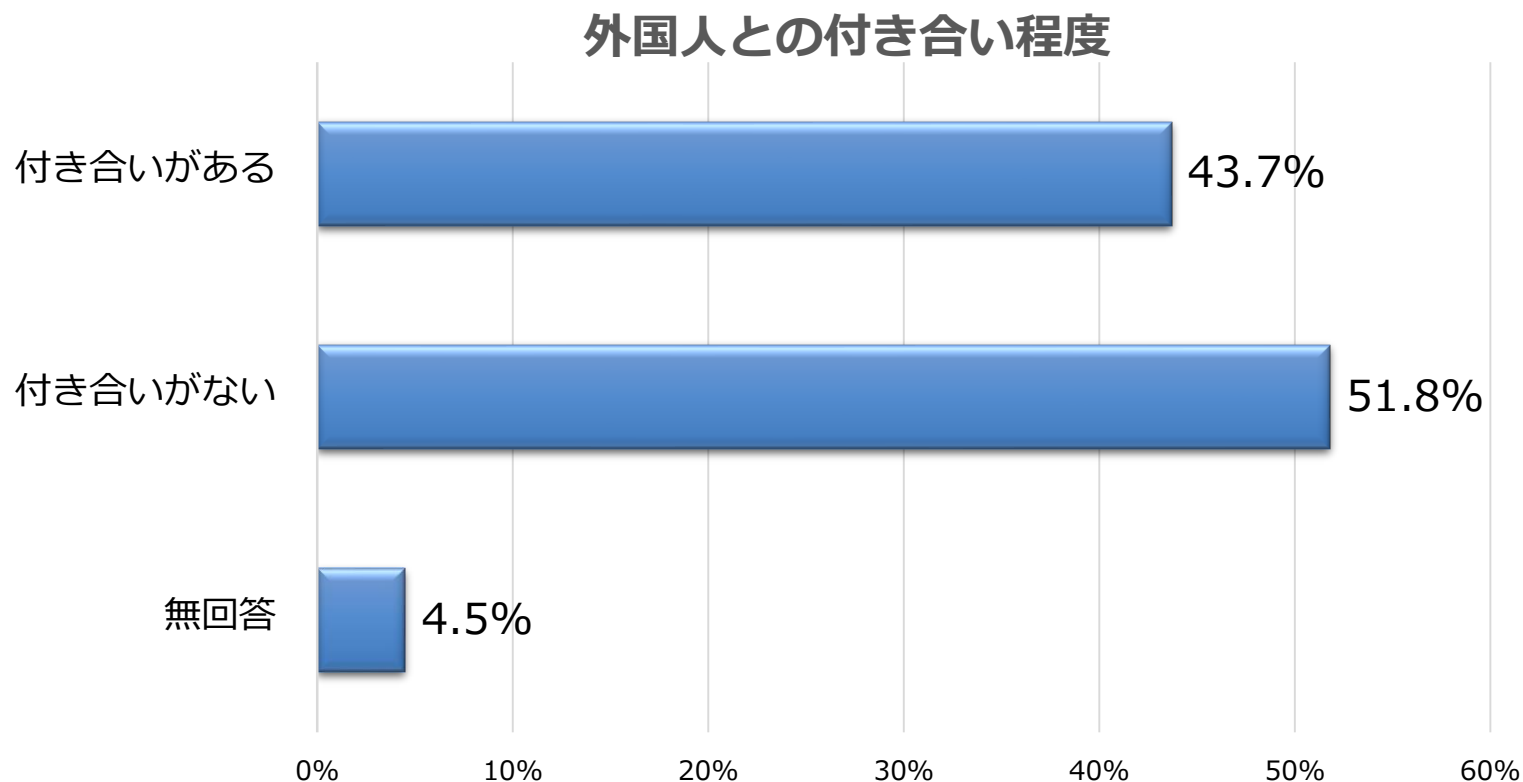
(2016年日本人)問12 地域で暮らす外国人（外国人回答者に対しては日本人）について、どの程度親しみを感じますか。



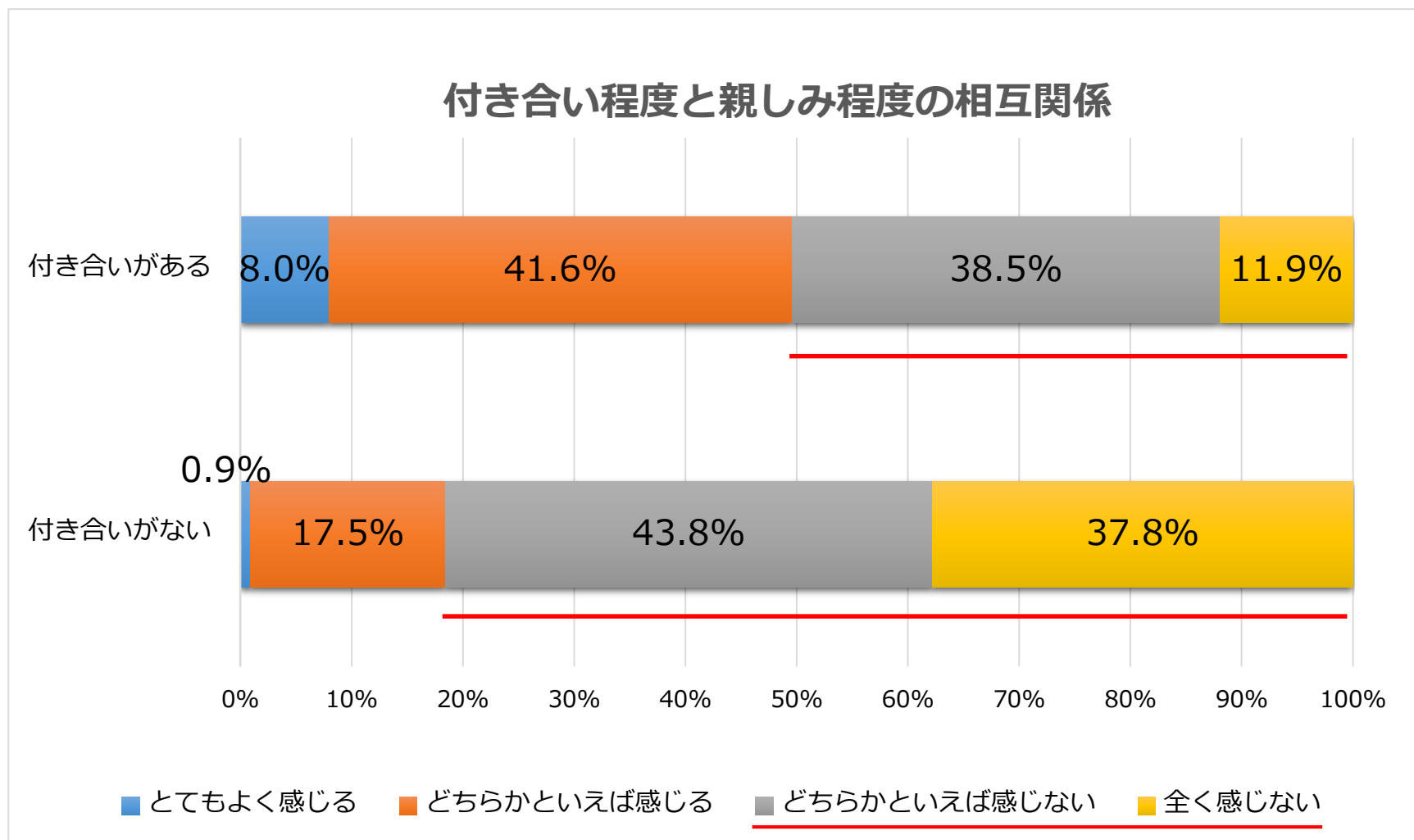
外国人との付き合いの有無でグループ化

- ・なんらかの付き合いがある 44%
- ・付き合いがない 52%

(2016年日本人)問10 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(複数回答)



付き合いがあるグループ: 親しみを感じない人が5割
付き合いがないグループ: 親しみを感じない人が8割
全く感じない人も4割弱

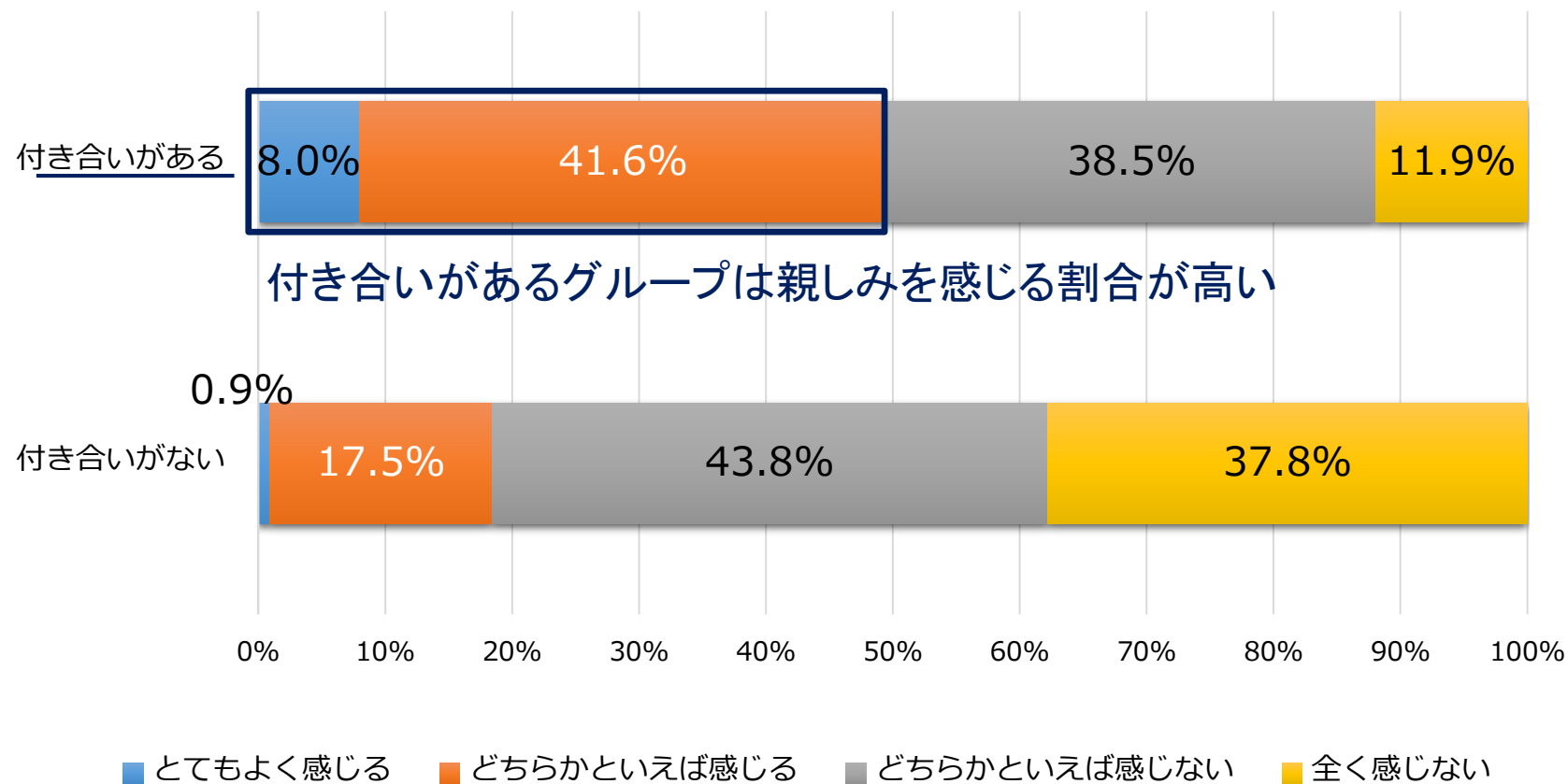


付き合いがあるグループ: 親しみを感じる人が5割

付き合いがないグループ: 親しみを感じない人が8割

全く感じない人も4割弱

付き合い程度と親しみ程度の相互関係



「労働者」としてだけでなく、 「生活者」としての視点を！

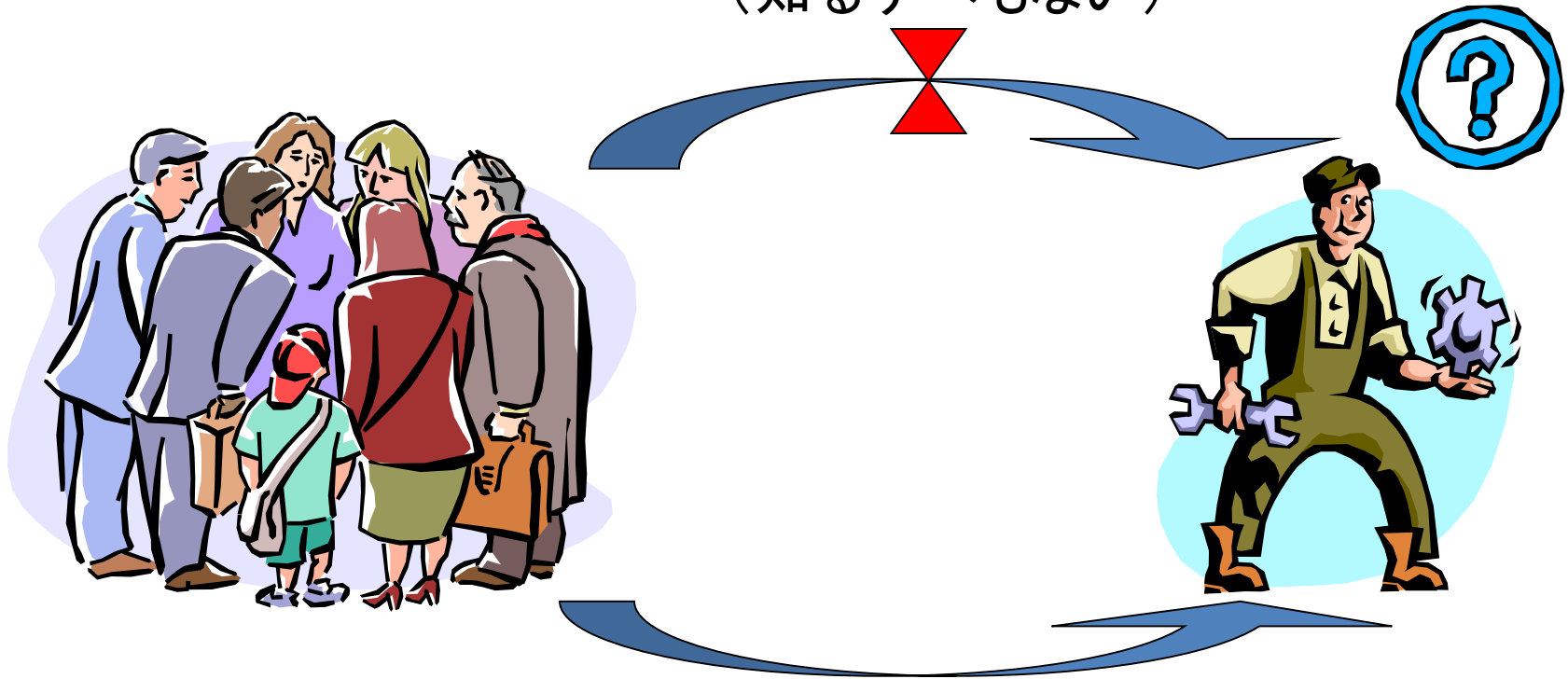
- 企業
 - 安心して気持ちよく働ける労働環境の整備
- 行政・NPO
 - 困った時に相談できる場所の整備
- 地域
 - 「ここで暮らしていいんだ」と心から思える
地域との関係づくり

外国人と地域をつなぐ上で、企業の関わりが大切

「顔の见えない」関係の危うさ

目の前に住む外国人を知ろうとしない

(知るすべもない)



マスメディアで報道される否定的イメージ
を投影 … 「外国人は怖い！」

顔が見えるためには？



一緒に何かをやる！

地域とのつながりに参加

(第三種郵便物認可)

静 18(10)18(木) p.18

責第

磐田で20、21日初の試み

磐田市掛塚地区で20、21日に開かれる伝統の秋祭り「掛塚まつり」に、地元企業に勤務する外国人女性約30人が参加する。同祭への外国人の集団参加は初の試み。背景には少子高齢化による参加者の減少もあるが、地元自治会役員は「同じ地域に住む住民として、国籍にかかわらず祭りの魅力に触れてほしい」と伝統行事を通じて国際理解の促進に期待する。

「掛塚まつり」に外国人女性

サンク・アービーさん(26)も「祭りの日に日本人の人も話したい」と声を弾ませた。

同市文化財課による

ン・マリテルさん(25)は「日本の祭りは素晴らしい、以前から参加したかった。法被を着るのが楽しみ」と期待した。ウケ(磐田支局・高松勝)

受け入れるのは、同地区9町の一つの蟹町自治会。自動車部品メーカー三恵(同市西平松)の外国人技能実習生が地域に居住することから、同社の了承を得て、フィリピン人従業員らを祭りに招くことを決めた。10月初旬には公民館で事前講習会を開き、自治

技能実習生「屋台、法被 楽しみ」



蟹町の屋台を見学する外国人従業員ら(磐田市掛塚)

- 地域の秋祭り
 - フィリピン女性30人参加
 - 技能実習生
 - 企業がつなぐ
 - 地元自治会長の声
- 「同じ地域に住む住民として、国籍にかかわらず祭りの魅力に触れてほしい」

外国人とつながる「しくみ」づくり

バディーの子どもたちと
手をつなぎ、スタンプラ
リーをする技能実習生た
ち—愛知県高浜市で



相棒は地域住民

外国人技能実習生孤立防げ

全国で外国人技能実習生の数が最も多い愛知県で、受け入れ団体が「バディー」(仲間、相棒)制度を導入した。地域住民が実習生一人一人の相棒となり、その生活を見守る仕組みだ。移民、難民が急増したベルギー・メヘレン市が取り入れ、効果を上げたことで知られる。今後も拡大する技能実習生との共存に向けた新たな試みに注目が集まる。

「こんにちは」。休日の朝、愛知県高浜市の住宅街にある古民家で、子どもたちの声が響いた。技能実習生の受け入れや指導を担う公益社団法人「トレイディングケア」の事務所兼研修センター。やってきたのはバディーの親子やその友だちだ。法人は4月、インドネシアから介護実習生の受け入れを始めた。第1期実習生は21、33歳の男女5人。この日は、子どもたちとスタンプラリーを楽しんだ。ミッションをクリアして点数を競う。日常生活に必要な日本語や生活習慣を身につけるのが狙いだ。

バディーを務めるのは主婦や学生など市内に住む人を中心とする10〜70代の13人。法人の新美純子代表(48)が地元のママ友や近隣に声を掛けて集めた。主婦の千賀由紀子さ

- ・ 愛知県高浜市
- ・ 技能実習生と「バディ制度」
- ・ バディ＝仲間、相棒
- ・ ベルギーの制度をまねる
- ・ 地元の主婦層や学生、子どもたち

※2018年6月末現在、法務省の資料から

技能実習生が多い都府県	人数
①愛知県	2万9919人
②千葉県	1万3837人
③東京都	1万3754人
④茨城県	1万3571人
⑤埼玉県	1万3291人



最多の愛知で新制度導入

ん(44)は「引っ込み思案の9歳の娘が、実習生に折り紙を教える時は生き生きしている。いい経験です」と話す。新美代表は「実習生は生活面の支援が手薄になりがちで、孤立感から失踪につながることもある。地域に受け入れられているという実感がある」と、安心して実習に打ち込める」と説明する。

実習生のウィンドウ・ハディウィジャヤさん(28)は母国に妻と3歳、1歳の子どもがいる。「バディーはみんなやさしい。子どもが遊びにくると自分の家族を思い出します」と笑顔を見せた。

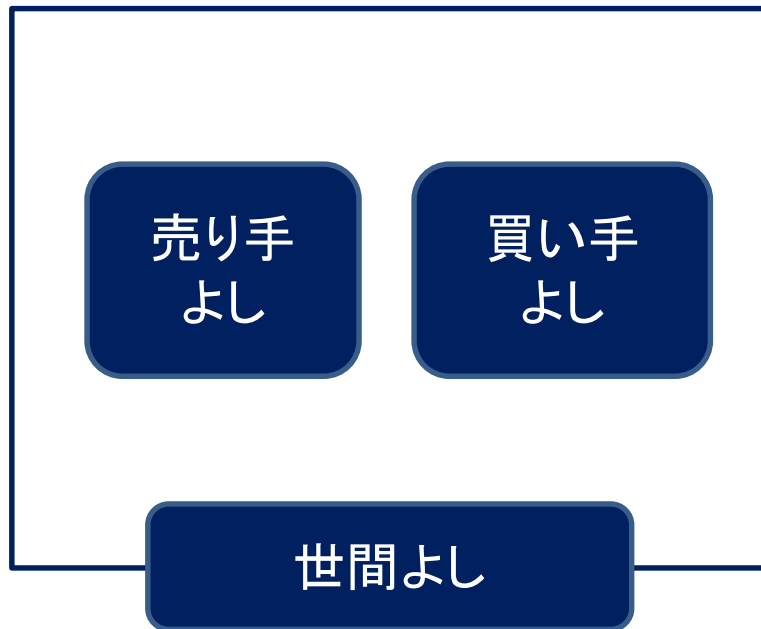
研修を終えた5人は6月から実習先の介護施設に移った。施設を運営する社会福祉法人にとって初めての受け入れで、新美代表らの取り組みに共感し、寮の近所でバディーになってくれる人の募集を始めた。早川一洋統括施設長は「生活する地域で、新しい人間関係が生まれてくれるとうれしい」と期待している。

【太田敦子、写真も】

「三方よし」の受け入れを！

近江商人の「三方よし」

21世紀の「三方よし」



6. 定住外国人第二世代の 若者たちへの期待

1990年の日系人受け入れから30年

年	主な出来事	第一世代	第二世代	第一世代	第二世代
1990 ↓10年	1990.6 改正入管法施行 1997 技能実習制度	25才	0才	30才	5才
2000 ↓10年	2008.秋 リーマンショック	35才	10才	40才	15才
2010 ↓10年	2011.3 東日本大震災 2019.4 「特定技能」開始	45才	20才	50才	25才
2020	2020 新型コロナ	55才	30才	60才	35才

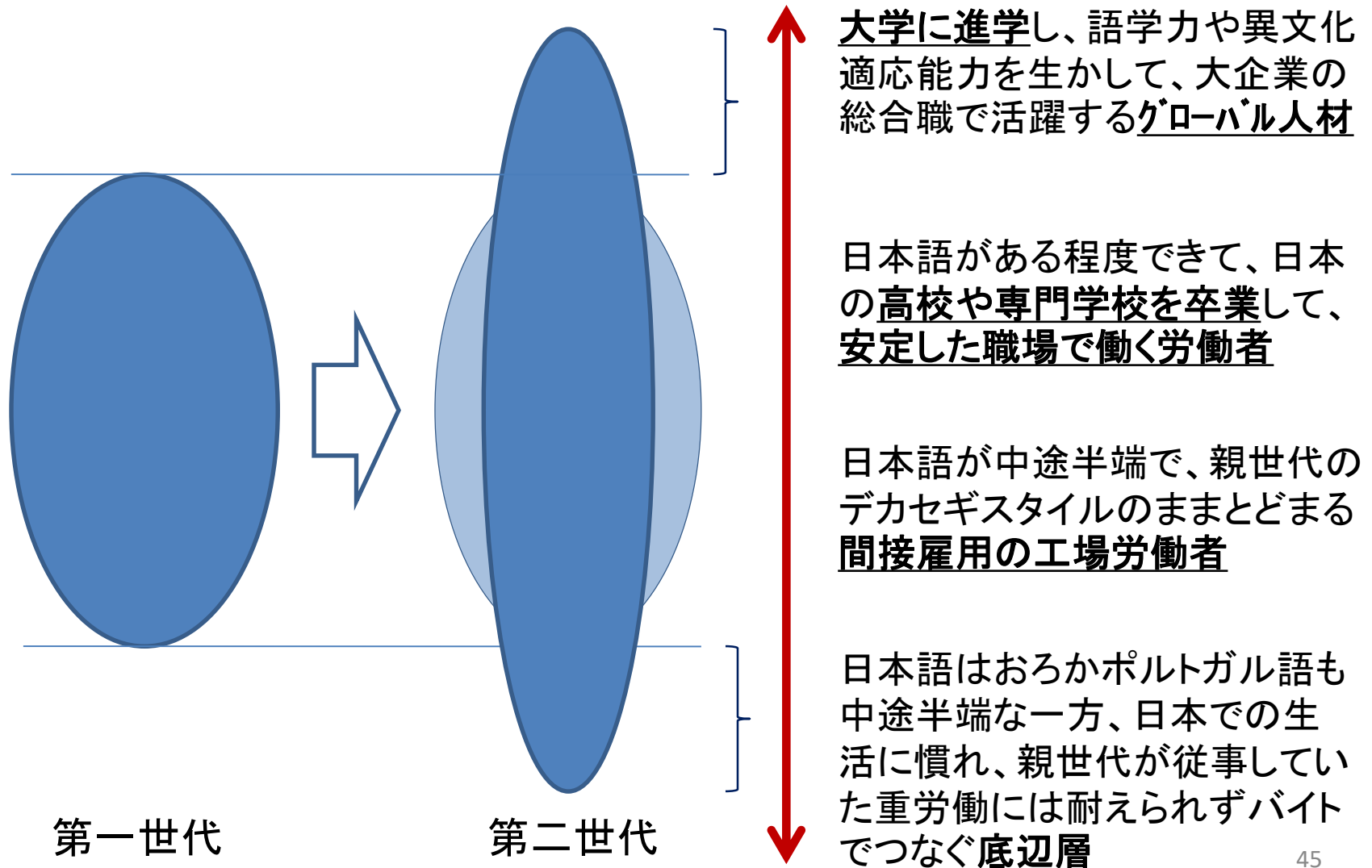
静岡文化芸術大学

Shizuoka University of Art and Culture (SUAC)



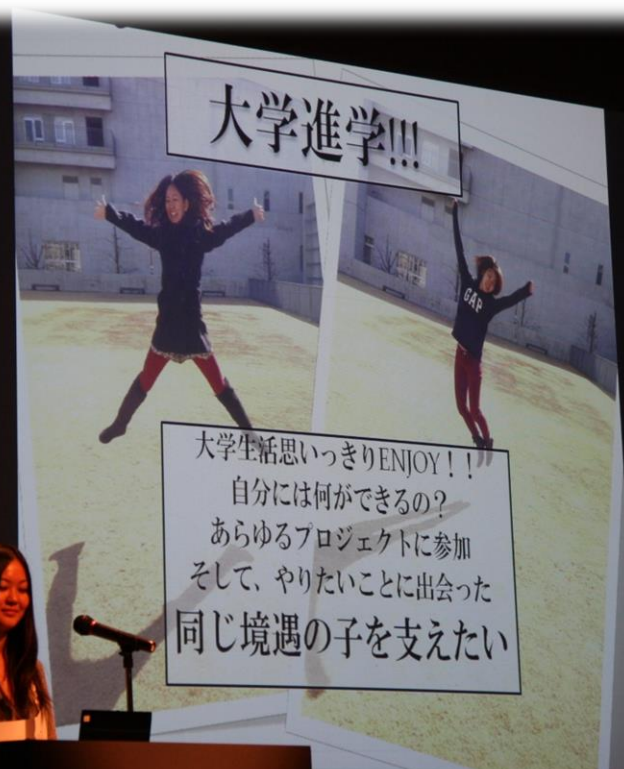
- 静岡県が浜松市中心部に設置。
- 公設民営で2000年開学。10年に県立の大学に。
- 2つの学部(1学年300名定員の小規模大学)
 - 文化政策学部
 - …国際文化学科、文化政策学科、芸術文化学科
 - デザイン学部
 - …デザイン学科
- 学科の同僚に日系ブラジル人の教員も。
- 現在約十数名の定住外国人学生が在籍。

ブラジル人第二世代の格差拡大のモデル



はままつグローバルフェアより

2013年2月10日(日)@クリエート浜松



同じ境遇の子を
支えたい！

HICE(浜松国際交流協会のサイトで動画閲覧可能
http://www.hi-hice.jp/j_report.php

外国籍児童が小学校“体験”

浜松の学生ら運営、指導



浜松市内小学校へ今春入学予定の外国籍の児童らに学校の雰囲気慣れてもらおうと、一般社団法人「グローバル人財サポート浜松」(同市中央区)は27日まで、市内4小学校で体験教室「びよりクラス」を開いている。児童17人が日本語や算数、図工などの授業を体験したり、給食や掃除など、学校のルールや習慣について学んでいる。

あすまで4校で教室

教室運営や指導を担当するのは、静岡文化芸術大、浜松学院大、静岡大の学生18人。南の星小、大瀬小、浜名小、佐鳴台小で21日から土日を除く5日間、4時限の授業を実施している。

南の星小担当で静岡文化芸術大2年の松永利紗さんは「初日は緊張しておどしかったが、がすぐと活弁になり、

出典：静岡新聞2013年3月26日付け、21頁



静岡文化芸術大3年の田中琢間さん（左端）。3月には同じ日系ブラジル人の学生らと名古屋市のNPOを訪れた＝同市港区

日本育ち 期待の国際人材

朝日 160907 (水) 2F/P.9

移住第2世代、語学力・柔軟さではばたく

職を求め、日本に定住した日系人や外国人の子どもたちが、進歩や就職の時期を迎えている。日本語や格闘技の問題が日本とどの進歩格差は依然大きいが、改善の兆しも見える。多言語を操る能力や異文化への柔軟さを強みに、日本育ちの「グローバル人材」になる可能性を秘めている。

希望の会社に

今春、静岡市の物流会社
に就職した宮城ユキミさん
(22)はお盆前、多忙だった。輸出関連の部署で英語
を、日本社会に認識してほ
しい」と訴える。

の書刊の扉紙に「述べた父は
ブラジルに生まれ、父は
日本人。母はブラジル人。
出稼ぎに来た親と二緒
に10歳で来日し、経済
的に苦しく、日本語も分
からなかった。努力を積み
重ねて静岡文化藝術大（浜
松市）に進み、望んだ会社
が社会、巣立っている。

足で、1990年に改訂出版
入賞理法が施行され、日
系は就労制限がない在留
資格を取得可能になった。
それから四十年、定住
した移第1世代の間に生
れた移第2世代の間に生

が社会へ巣立っている。

先輩に憧れて

母親のカルドル・ド・多美さん(43)は「ブラジルで大学を出るに決めたが、財力を理由に入学を断念。17歳で来日し、自動車やピアノ工場のライフで働いた。『自分のように絶対になってはくなくった。日本の大学に入って頑張れば、好きな事をやれるはず』。息子を叱咤し続けた」。

田中さんは今、学習支援教室「後輩を教える。『自分でも大学生になれるかな』と聞かれたら「ああ、なれるよ」と答える。「宮城さんのようなロールモデルに、自分もなりたい」。

残る進学格差

鍛冶敦 大阪成蹊大准教授ら研究チームは、10年の

残る進学格差

鍛冶致・大阪成蹊大教授ら研究チームは、10年の
国勢調査をもとに、日本で
5年以上生活する外国人の
進学状況を分析した。17歳
の高校在学率は、ブラジル
籍とフィリピン籍が6割
強。9割を超す日本人と格
差はあるが、00年比で在学
率は29割ずつ向上した。

18・22歳の大学在学率は
さらに低い。鍛冶准教授は
「検出困難なほど低かつ

た年がかりに改善していった。大空を目指す生徒が孤獨な「イオニア」だった時代は終わり、夢ではなく目標として大学進学を志す時代がまよやと来た」とみる。

NPO 愛徳舎（三重県鈴鹿市）は13年から、外国に高校3年生を持つ進学者を、例年10人を対象に奨学金を贈つてきた。今年選抜された6人は3月の授与式で、医師や音楽、公務員など、近い将来に目標を語った。坂本久海子理事長は「毎年、奨学金目標の場が広がっている」と喜ぶ。

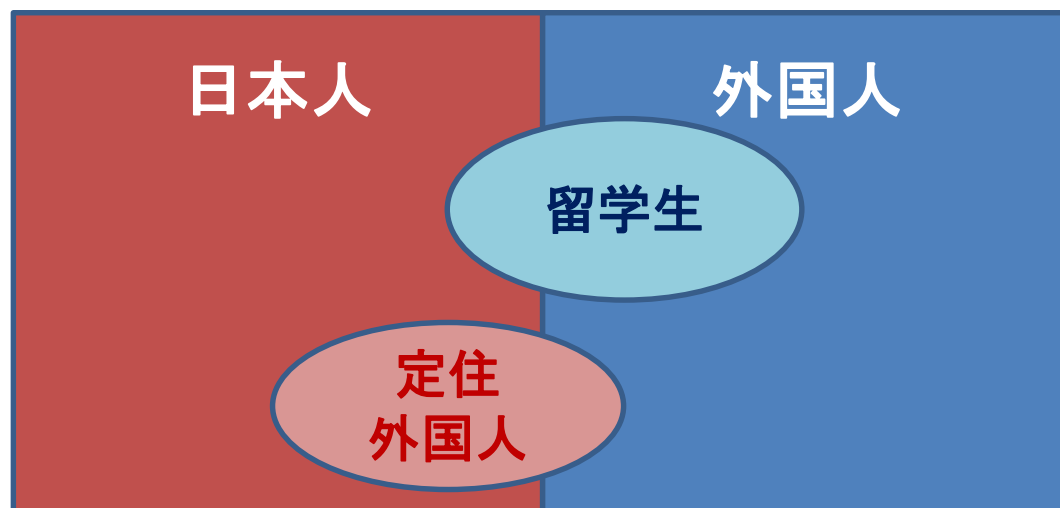
「エモエモ」流地城産業の製菓所（同県伊賀市）木村修社長は「ハンディを乗り越えたパワー」がある」と感心し、「う話た。」

「新たな価値観を持つ、彼らのような人材は、企業にとってプラスになる」（諸見晃二）

出典：朝日新聞2016年9月7日付け(夕)、9頁

同じ背景を持つ第二世代学生が支援活動を展開
大手企業の総合職で働く卒業生も
日本で育った第二世代の若者たちが日本人と外国人
をつなぐ役割に期待

- この30年、定住外国人の第二世代が育つ
- 日本人と外国人の二分法を超えて
- 両者をつなぐ存在に注目
 - 留学生から地元企業に就職する外国人だけでなく
 - 「グローバル人材の原石は足元にあり！」



まとめ

- 外国人は日本人との交流を希望
- 外国人と地域の「顔の見える関係」を
- 外国人と地域をつなぐ上で企業の関与が大切
- 企業よし、外国人よし、地域よしの「三方よし」を
- 静岡県西部は定住外国人の第二世代が育つ
- 第二世代も「グローバル人材の原石」

ご清聴ありがとうございました



【最後にお知らせ】
左の本の4章1節として

池上重弘
「文化芸術活動を通じた
多文化共生の取り組み」
を執筆

2020年3月出版、学芸出版社